

ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 吉田邑南線 交通安全施設等整備事業に伴う詳細設計
業務委託

ボーリングNo. 5 2 3 2 0 5 7 1 0 0 1

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor No. 1	調査位置	安芸高田市美土里町横田	北緯	34° 43' 31.9579"
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成29年10月23日～平成29年10月24日
調査業者名	主任技師		現代代理人	口鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 308.80m	角	180° 上 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 180°南
総掘進長	6.00m	度	0°	向	0°
使用機種	東邦D2G-58	試験機	東邦D2G-58	ハンマー	半自動型
エンジン	ヤンマーNS-130	ポンプ	東洋BP1		

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試料採取	室内	掘進	
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値						
1	1.80	1.80	礫混じり粘土質砂	暗褐色	非常に緩い			草根を多く含む。 径5cm以下の礫を20～30%混入する。 径10cm程度の玉石を混入する。 マトリックスは粘土質砂。			1.15	2	1	1	4/30					
2	1.20	3.00	礫混じり粘土質砂	暗褐色	中ぐらい			崖堆積物。 径3～7cm以下の礫を30～40%混入。 所々で礫を多く混入し砂礫状を呈す。			1.45	2	4	5	11/30					
3	1.10	4.10	礫混じり砂	淡黄褐色	中ぐらい			段丘堆積物。 砂は粗砂を主体とする。 径5cm以下の礫を20～40%混入する。			2.45	7	3	2	12/30					
4	1.90	6.00	流紋岩	淡緑褐色				CL～CM級岩盤 (CM級主体) 中硬岩 L=10cm以下の短柱状～岩片状コアで採取するが亀裂面に沿って細礫状～土砂化する。 コア肌はやや粗く、亀裂面は暗茶褐色に変色している。			3.45	50			50以上				10/23	
5											4.05	50			50以上				10/24	
6											4.14	50			50以上					
7											5.00	貫入不能			50以上					
8											6.00	貫入不能			50以上					